

ベラルーシ名誉領事に

日本友好協会事務局長の佐々木さん(大仙市)

20年にわたる 支援活動結実



ベラルーシ共和国の名誉領事に就任し、今後の活動に意欲を覚せる佐々木正光さん(大仙市)の日本ベラルーシ友好協会

外務省によると、県内在住の名誉領事は佐々木さんだ。領事館は同協会に預けられ、県内に領事館が開設されるのは初めて。佐々木さんが、ベラルーシの支援を始めたのは、知り合っていた旧ソ連の医学博士から、被ばく地の事情を聞いたことがきっかけ。92年に同協会の前身「秋田ベラルーシ友好協会」を設立し、事務局長に就任。同年、県内外で募った寄付金約500万円で医療関連品約3万点を購入して現地に贈った。自身は、サービ



ベラルーシ共和国の名誉領事に就任し、今後の活動に意欲を覚せる佐々木正光さん(大仙市)の日本ベラルーシ友好協会

「現地で医療機器研究開発会社を運営する傍ら、これまで同協会として募金活動を続け、これまでベラルーシの研修医1人を秋田大学医学部などに招いたほか、医療巡回診療車2台を現地に寄贈した。佐々木さんは「現地では医療機器を渴望していて、届けるたびに喜ばれた。現地の人の温かさにも触れ、ベラルーシとは切っても切れない関係だ」と語っている。福島第一原発事故後は、ベラルーシとの協力体制を強化し、チェルノブイリ原発事故当時のベラルーシの対応を参考に、秋田、大仙両市の病院に呼び掛け、被ばくを懸念する

首都はミンスク。ロシアやポーランドなどから国に接する車道の共同制の家。1991年に当時のソ連から独立した。面積は約20万7600平方キロメートルで、日本の約半分の面積。現在の産業は機械電

現地の民間人を任命

名譽領事は、大使館や領事館がない都市で、各国が外交官の代わりに現地の民間人を任命する。現地に住む国民の保護や、両国の観光、経済、文化の交流拡大などが主な業務。各国が対象者を申請し、外務省が承認する。同僚は秋田県に在住し、国内で任命されている名譽領事は男力国の1人。1人で数カ国の名譽領事を兼務している人もい。県関係では、能代市出身の元衆議院議員、野呂田秀成氏が在任。スラエル名誉領事に就いている

「秋田とベラルーシの経済交流も活発化している」と話す。佐々木さんは「ベラルーシから日本へ理解を深めながら、福島の復興に役立つ活動に取り組みたい」と語った。

秋田市に開設されたベラルーシ共和国の名譽領事館が秋田市内に開設され、15日から業務を始めた。名譽領事に就いたのは、20年以上にわたって同国と交流を続ける会社社長の佐々木正光さん(62)だ。大仙市、ベラルーシには美人も多く、お酒好き。秋田と似たところも多い国ですと話し、交流が深まることを期待している。外務省によると、県内の名譽領事はベラルーシのみ。東京都市内に大使館があるほか、兵庫県西宮市にも名譽領事館がある。

「秋田とベラルーシの経済交流も活発化している」と話す佐々木正光さん

No.101

秋田市に名誉領事館

「領事」に大仙の佐々木さん



「秋田とベラルーシの経済交流も活発化している」と話す佐々木正光さん

旧ソ連から独立したベラルーシ共和国の名譽領事館が秋田市内に開設され、15日から業務を始めた。名譽領事に就いたのは、20年以上にわたって同国と交流を続ける会社社長の佐々木正光さん(62)だ。大仙市、ベラルーシには美人も多く、お酒好き。秋田と似たところも多い国ですと話し、交流が深まることを期待している。外務省によると、県内の名譽領事はベラルーシのみ。東京都市内に大使館があるほか、兵庫県西宮市にも名譽領事館がある。

「秋田とベラルーシの経済交流も活発化している」と話す佐々木正光さん